

■**斎藤寿雄** 医師。郷里の医院を継いだのを軸に、女学校や教会を設立、博愛精神を貫き、幅広く活躍・貢献した。

さいとうひさお

・ ・ ・ ・ ・ 1847= 上野国甘楽郡で、小幡藩典医斎藤寿軒の次男に生まれる。
母たに。幼名は錠策。

ペリー来航・1853= 6歳：
開国開港・・1854= 7歳：藩の学問所に入門し、漢学を学ぶ。

松下村塾・・1856= **9歳**：
蕃書調所・・1857=10歳：江戸麹町善国寺谷教授所に入学、
勉学に励み、

桜田門外変・1860=13歳：
遣欧使節・・1861=14歳：江戸四ツ谷北甲賀町医師福富玄洞に入門して医学を学んだ後、
生麦事件・・1862=15歳：上野国群馬郡野田村の原沢文沖に入塾して外科を、高崎寄会町五藤俊英方に入塾して種痘術を学ぶ。

薩摩藩士密航1865=**18歳**：
大政奉還・・1867=20歳：小幡藩奥詰医師となり寿軒の名を継ぐ(父は寿安と改名)。小幡藩士利根郡戸倉口に出兵に従軍、傷病者治療に尽力して、郡代目より金千疋賜る。

明治維新・・1868=21歳：若松城陥落で、軍目代より帰藩を命ぜられ、天皇の東幸で藩主に随従し上府。
戊辰戦争終・1869=22歳：藩主の許可を得て再び東京に遊学、寿雄と改名し、
初の日刊新聞1870=23歳：大学南校に入学。

学問のすすめ1872=25歳：父が死去したため、帰郷して、甘楽郡医学講習所副所長となると、
明治6年政変 1873=26歳：この頃、結婚。***費用の全部を出して高瀬小学校を設立、鑄川学校設立にも尽力。**
佐賀の乱・・1874=**27歳**：長男謙郎が誕生。高瀬村々民から懇請されて移住、高瀬小学校を村立とし保護役となる。親戚の縁で、この年アメリカから帰国したばかりの新島襄の講演を安中まで聞きに行きキリスト教に惹かれる。

初の民間工場1875=28歳：種痘医開業を免許され、熊谷県衛生所雇北第十二大区種痘医となる。
西南戦争・・1877=30歳：西南の役が起こると陸軍病院へ従軍を志願するも、城山陥落で帰宅。県衛生所新築に寄付し褒状。以後、様々なことで寄付をし、表彰を受けるなどする。

琉球処分・・1879=32歳：***梅毒検査法研究のため警視庁臨時検査医を命ぜられ、上京して、吉原、洲崎外四宿の検査所で実習。帰郷後、県庁へ具申し検査法を改正、廃娼運動にも目覚め、高瀬村々会議員となって活動を開始。北甘楽郡立病院副院長、富岡製糸場囃託医、以後、医療衛生関係を中心に、様々な地域の役職につくようになる。**

・ ・ ・ ・ ・ 1880=33歳：県会議員に当選するや、

明治14年政変1881=34歳：
新体詩抄・・1882=35歳：湯浅治郎らと、県会に廃娼を建議して貫徹、群馬県を日本で最初の廃娼県とするに至る。

岩倉具視没・1883=**36歳**：コレラ流行の際の活動で、慰労金、賞金を受ける。
秩父事件・・1884=37歳：県会議員に再当選、以後当選続く。同志と海老名弾正より受洗し、甘楽第一基督教会の創立し、

帝国大学始・1886=39歳：検疫医となる。(甘楽)英学校を設立。
国民之友始・1887=40歳：母が死去、甘楽第一基督教会の仮会堂となっていた自宅で埋葬式。

帝国憲法発布1889=42歳：群馬県連合医会々長。新島、海老名らとともに、共愛社設立発起人、費用の大半を負担して新会堂建築。

大津事件・・1891=44歳：濃尾大震災には自費出張し負傷者救済。
大本教・・・1892=**45歳**：旧南甘楽郡万場村大火にも自費出張し負傷者救護。

日清戦争始・1894=47歳：
この間も、県会議員として群長民選など様々な建議をしてきたが、さらに広げるべく、

子規句歌革新1898=51歳：摂津泉陸軍連合大演習に際し大阪城において賜饌の栄。憲政党から衆議院議員に当選。
Bushidou・・1899=52歳：甘楽基督教会管理者として、知事に既設立届を提出。

田中正造直訴1901=**54歳**：明治天皇御真影拝戴。
教科書疑獄・1902=55歳：検疫奨励に対して***藍綬褒章、癩病国立療養所設置の国会建議で委員長を務め、昭憲皇后の耳に入って、手許金の下賜があり、癩子防法の公布、療養所5か所設置が決まるに至る。**

日比谷公園・1903=56歳：共愛社常議員に当選。甘楽基督教会の独立披露式を行い、以後しばらく著しい伝道活動。
日露戦争終・1905=58歳：高崎会堂での上毛基督教信徒大会で、上毛伝道会の設立を提案し可決。男尊女卑の国の教育方針に憤慨し、私費で富岡女学校を設立するも、

満鉄発足・・1906=59歳：群馬県医師会長となる。
韓国反日暴動1907=60歳：北甘楽郡医師会成立、同会々長。残念ながら維持困難となり廃校となるが、女子教育への道を拓く。

アヲキ創刊・1908=61歳：長男謙郎が死去、{東京朝日新聞}に記事が掲載される。

伊藤博文暗殺1909=62歳：宇都宮市において賜饌の栄。

韓国併合・・1910=**63歳**：関東東北医師大会を主唱し第一回大会を前橋市で開く。

大逆事件判決1911=64歳：東京青年館で「群馬の廃娼」と題して演説。

明治天皇没・1912=65歳：
大正政変・・1913=66歳：財団法人共愛社が設立されると評議員に選任される。

第一次大戦始1914=67歳：妻が死去。

ロシア革命・1917=70歳：衆議院に、立憲政友会から立候補して再当選、以後当選続く。

ベルリン条約・1919=**72歳**：
大暴落・・・1920=73歳：明治神宮鎮座祭に参列の栄。日本赤十字社特別社員。根本正、安藤太郎を招き、甘楽教会で禁酒大演説会を開く。法定群馬県医師会を設立し、会長に選ばれる。

原敬首相暗殺1921=74歳：霞ヶ浦離宮の天長節奉祝園遊会、赤坂離宮御苑観覧会に招待される。

関東大震災・1923=76歳：新宿御苑観覧会に招待される。

護憲三派圧勝1924=77歳：群馬県衛生協会副会長、甘楽衛生会顧問、日本医師会医政調査会々長。皇太子御成婚の式典に衆議院議員総代として参列するなど、群馬県医界のリーダーとして華やかな経歴を持ちながらも、

治安維持法・1925=78歳：北甘楽郡新屋尋常高等小学校々医、機業工場医。栄養学者佐伯矩の学校創設を支援し、栄養学校々長、

円本時代始・1926=79歳：富岡幼稚園を設立するなど、***郷土に密着した活動も怠ることなく、現役を続けたが、**

共産党事件・1928=**81歳**：群馬県医師会館落成式が挙行され、寿雄の胸像除幕式も行われる。

満州事変・・1931=84歳：財団法人癩子防協会評議員、日本医師会顧問。

帝人疑獄事件1934=87歳：陸軍特別大演習の際、県庁で陛下に単独拝謁、陪食とともに、栄養に関しての下問に奉答の栄に浴し、

健保+総動員 1938=91歳：カタル性肺炎を発病し、没した。

高崎経済大「群馬にみる人・自然・思想」、